

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域福祉を支える人材育成事業			事業番号	03-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	小林 幹夫	福祉総務課	三河 秀行	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	2	みんなで支え合う福祉のまちをつくる	
		施策	3	多様な連携による地域福祉の推進	
予算事業名	福祉総務一般事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成24年度	～	終了年度	-
関連法令等	社会福祉法第107条				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	第3期伊勢原市地域福祉計画			計画期間	平成25年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	東日本大震災を契機に、家族や地域のつながり、絆が見直され、地域住民同士の支え合い、助け合いの重要性が再認識されました。また、社会的孤立といった新たな社会問題も指摘され、地域住民相互による共助による支え合い・助け合いの体制づくりなど、地域福祉の推進を図る必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域福祉活動の担い手となる人材の育成を行い、ボランティア活動などの地域福祉活動等を促進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	・福祉施策と市民、団体等のニーズとの整合を図りつつ、魅力あるプログラムを展開し、人材育成の上積みを図ります。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	市民活動団体との調整	継続実施	継続実施		
	講座の開催	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	地域福祉に関する講座の受講者数(累計)	40人	80人	90人	

 事業実施 (Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市の地域福祉政策と市民、団体等のニーズとの整合を図り、魅力ある講座を実施します。</li> <li>・地域福祉計画の改訂に向け、今後の地域福祉を支える人材の育成方法について検討を行います。</li> </ul>			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 伊勢原市社会福祉協議会	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>	
	市民活動団体との調整	未実施	未実施	
	講座の開催	継続実施	継続実施	
<b>実施した取組の内容</b>	権利擁護推進に関する講座を実施しました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>	
			<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	地域福祉に関する講座の受講者数(累計)	40人	73人	105人

<b>コスト</b>	<b>年度</b>		<b>28年度 実績</b>				<b>29年度 実績</b>			
	<b>事業費合計 (a)</b>		170		千円	210		千円		
	<b>内訳</b>	<b>国県支出金 ①</b>	0		千円	0		千円		
		<b>地方債 ②</b>	0		千円	0		千円		
		<b>その他特財 ③</b>	0		千円	0		千円		
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	170		千円	210		千円		
	<b>国県支出金の内容</b>									
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>					
		<b>その他</b>								
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.01	人	87	千円	0.01	人	87	千円
		<b>その他の職員</b>	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	0.01	人	87	千円	0.01	人	87	千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				257	千円			297	千円
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	市民		単位	市民		単位	
			<b>対象数</b>	101,635		人	102,037		人	
<b>総事業費 / 対象数</b>		3		円	3		円			

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	市民の関心が高い「権利擁護の推進」に関する講座を開催し、地域福祉活動の担い手育成の一助としました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	各自治体における地域福祉行政の方向性や社会資源などの実情に即して進められるものであるため、一律に比較することは難しい。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	地域福祉に関する講座の実施により、今後重要な役割となることが想定される地域福祉の担い手育成の推進を図ることができました。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	講座実施を社会福祉協議会に委託することで、効率的な執行を行いました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
<b>事業推進上の課題</b>	当市の地域福祉政策に必要な人材育成を着実に進める必要があります。また、市民活動団体等とも連携・協働しながら、人材育成に向けた講座を実施し、地域福祉の担い手の裾野を広げていく必要があります。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	当市の地域福祉政策と市民、団体等のニーズと整合を図り、市社協や市民活動団体等と連携・協働して、権利擁護や地域福祉に関する魅力ある講座を実施します。
<b>所管部長による総評</b>	今後、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりが求められることから、地域福祉に関する理解を促進し、地域福祉を支える人材の育成を進める必要があります。